

## 授業改善推進プラン

### 【数学科】

学 年	現状の課題	指導の重点と改善策 ※求められる力【短期と中・長期】
1 学 年	<p>・1月末に行われた「朝学まとめテスト(一次方程式)」の結果において、10問中5問以上できた割合は93%であった。一方で、10問中10問正解したのは約50%しかいなかったため、残りの40%の生徒に課題があると考えられる。授業初めに行っているマス計算を見る限りでは、基礎計算力はある程度身につけているので、中間層40%の生徒の学習習慣や学習に対する姿勢を改善する必要がある。</p>	<p><b>【短期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎計算力を身に付けさせるために授業でマス計算を行わせる。</li> <li>・学習習慣を身に付けさせるために、毎週水曜日に小テストを行う。</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><b>【中・長期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの学習活動を行い、課題に対する考え方を発表させることで、思考力と表現力を高める。</li> </ul>
2 学 年	<p>・1月末に行われた「朝学まとめテスト(一次方程式)」の結果において、5問以上できた割合は89%で、68%の生徒が10問中10問正解することができた。一方で5問できなかった生徒は11%と、1学年に比べると割合が大きい。したがって、基礎計算ができない低学力層が課題と考えることができる。</p>	<p><b>【短期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎計算力を身に付けさせるために授業でマス計算を行わせる。</li> </ul> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><b>【中・長期】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの学習活動を行い、課題に対する考え方を発表させることで、思考力と表現力を高める。</li> </ul>
3 学 年	<p>・1月末に行った単元別テスト(三平方の定理)では、80点以上獲得者が40%以上と、中間層の学力が上がったことが確認できる。また、11月に行われた創育の学力検査では、偏差値55以上の生徒は24%、偏差値50以上は42%と約半数が標準を満たしている一方で全体の偏差値が46であった。要因としては、偏差値40未満の27%の生徒に課題があると考えられる。</p>	<p><b>【短期】</b> 基礎的な計算力をつける。 都立の1番問題を利用して「正負の四則計算」「文字式の計算」「方程式」「根号を含む計算」「連立方程式」「確率」を重点的に取り組む</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><b>【中・長期】</b> 関数や平面・空間図形での問題を解けるようにする。 応用問題を解けた生徒に黒板で解説をさせることで、理解を深めさせると同時に、わかりやすい説明には何が必要かを考えさせる。</p>